

KONAMI SPORTS CLUB

コナミスポーツ株式会社
PPP 事業 (Public Private Partnership)

KONAMI SPORTS CLUB

会社概要

商号

コナミスポーツ株式会社
Konami Sports Co., Ltd.

本社事務所

東京都品川区東品川 4 丁目 10 番 1 号
TEL 03-5769-0573 (代表)

代表者

代表取締役社長 室田 健志

設立

1973 年 3 月 14 日

施設数

直営：153 施設 受託：207 施設
合計：360 施設 (2023 年 3 月 31 日現在)

社員数

4,706 名※ (2023 年 3 月 31 日現在)
※月間 160 時間換算の臨時従業員含む

官民連携事業

PPP (Public Private Partnership)

INDEX

コナミスポーツ PPP 導入事例集

- | | |
|---|----------|
| 004 プール老朽化問題を救った 学校水泳授業の受託 | 愛知県蒲郡市 |
| 008 指導者の不在を解決した 学校部活動への出張指導 | 東京都大田区 |
| 010 初めての人でも参加でき 地域活性化をもたらす スポーツイベントの実施・運営 | 神奈川県川崎市 |
| 014 健康長寿社会に貢献する 高齢者向け運動教室の開催 | 東京都大田区 |
| 016 プロスポーツ観戦+運動+αが実現する 地域住民に親しまれる総合スポーツ施設 | 千葉県船橋市 |
| 018 コロナ禍でも安全・安心に 大規模大会を開催する方法とは？ | 埼玉県さいたま市 |
| 019 地域に密着し 地域ニーズに即した施設の運営 | 愛媛県四国中央市 |
| 019 施設内にとどまらない 市内全域のスポーツ推進と健康増進への貢献 | 香川県観音寺市 |
| 020 地域コミュニティの中心となる 総合スポーツ施設の運営・管理 | 香川県琴平町 |

なぜコナミスポーツは PPP に貢献できるのか？

- 022 コナミスポーツの特長
- 028 コナミスポーツの学校支援
- 032 コナミスポーツの地域スポーツ支援
- 034 コナミスポーツの公共施設運営

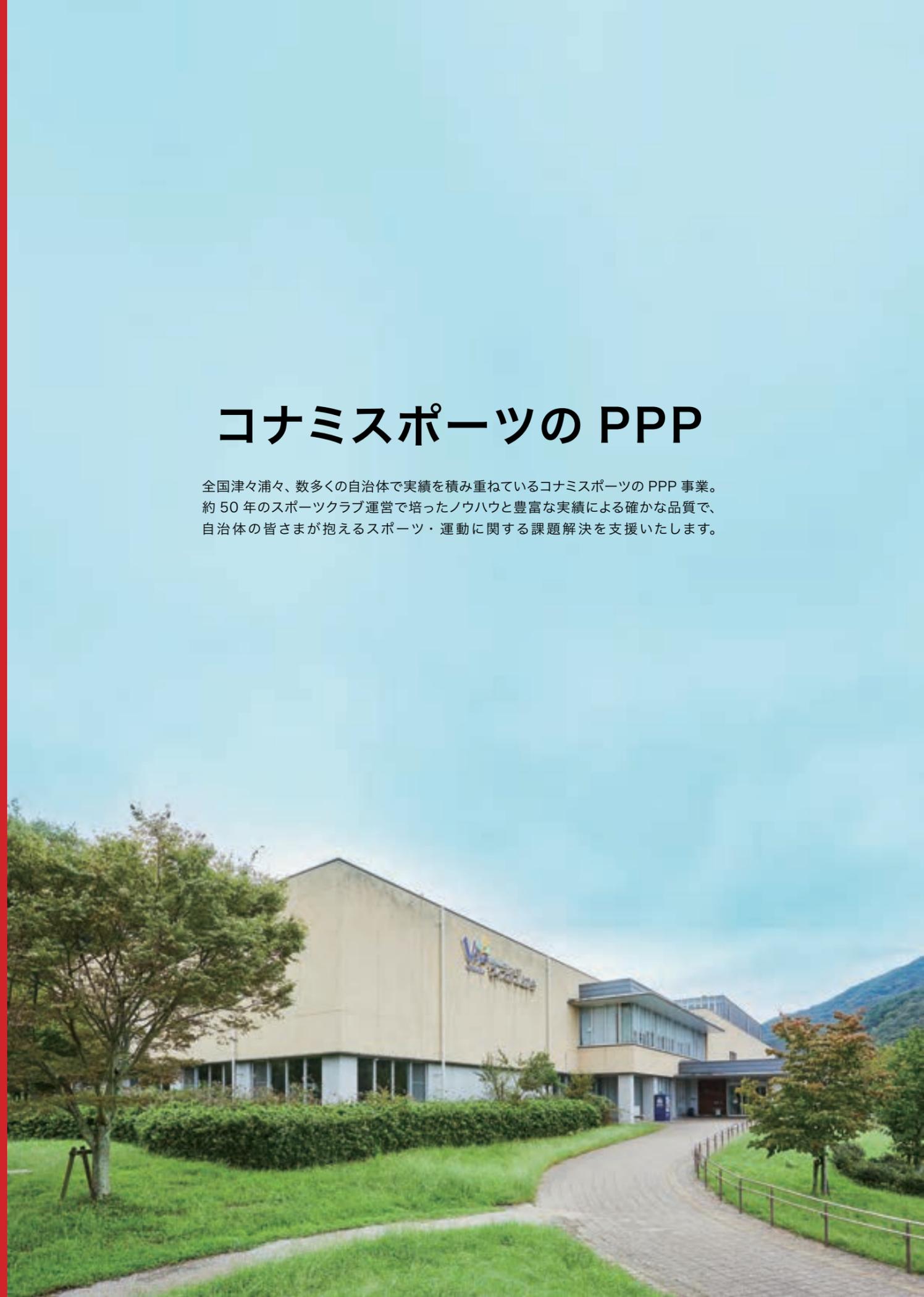
コナミスポーツが自治体から信頼される理由

- 026 コナミスポーツの安全対策 6つの新型コロナウイルス感染症対策 / その他の安全面への取り組み
- 031 「地域 × スポーツクラブ産業研究会」委員として

- 036 コナミスポーツ PPP 事業 実績一覧

コナミスポーツの PPP

全国津々浦々、数多くの自治体で実績を積み重ねているコナミスポーツの PPP 事業。約 50 年のスポーツクラブ運営で培ったノウハウと豊富な実績による確かな品質で、自治体の皆さまが抱えるスポーツ・運動に関する課題解決を支援いたします。



保護者満足度 96%を達成！

プール老朽化問題を救った 学校水泳授業の受託

学校内プールの先行きが不安視される中で、水泳授業の民間委託も活発化しています。

その成功例である蒲郡中学校の関係者の方々に、委託の経緯と成功の鍵を伺いました。

プール問題から始める「地域と連携・協働した学校教育」

愛知県の南東部、知多半島と渥美半島に囲まれた三河湾に臨む蒲郡市。その中心部にある市立蒲郡中学校を出発した約 150 人の生徒が、歩いて 3 分ほど離れたコナミスポーツクラブ蒲郡へと列をなして向かって行きます。生徒たちが目指すのは、同クラブ内にある全天候型の屋内温水プールです。

蒲郡中学校は 1963 年に同市でも初となるプールを設置しており、築 60 年近くになるプール設備は老朽化が進んでいました。そこで同校と市の教育委員会は、プールの改修にかかる費用などさまざまな問題を検討して、2019 年からコナミスポーツ株式会社（以下、コナミスポーツ）の施設を利用する「水泳授業の民間委託」に踏み出したのです。

「プールは夏の一時期しか使わないのに校舎の中でかなりの面積を占めるうえ、維持管理に関わる教員の負担もある。近くにスイミングスクールがあるなら、その施設と指導員の方を活用できないかと考えました」

（蒲郡中学校・岡田校長）

プール槽、管理棟、ろ過器といった設備からなるプールは、それぞれに管理修繕費がかかるだけでなく、ろ過器は更新も必要になります。これに水光熱費が加わって多額の費用がかかるにもかかわらず、屋外施設であるため水泳の授業は夏期に限られるなど、費用対効果が良いとは言えません。雨天で使えないことも多く、授業時間を確保しにくいことも問題です。さらには、全国の公立小中学校へのプールの配備は 1965～1975 年にかけて急速に進んだこともあって、多くの学校では耐用年数の目安となる 60 年を迎えており、プール施設のあり方の見直しを迫られています。

「市内の学校に設置されたプール施設の多くは、故障が始める時期にさしかかっている。応急処置はしていくものの、将来的に民間に委託する学校を増やしていくことも視野に入れなくてはいいかもしれません」

（蒲郡市教育委員会・小澤課長）

これらプール施設をめぐる様々な課題を、蒲郡中学校はコナミスポーツの「学校支援」事業を活用することで解決しました。蒲郡中学校がコナミスポーツに委託したのは、「コナミスポーツクラブ内プールの使用」と「インストラクターによる授業補助」。施設維持費の削減になるだけでなく、屋内プールによる計画的な授業の実施や、専門インストラクターによる安全かつ専門的な指導を期待しての委託だったものの、その効果は期待以上だったと関係者の方々は口を揃えます。

課題

- ・プールの老朽化と維持管理にかかる高コスト
- ・教員の泳力と水泳指導レベルの不統一
- ・コロナ対策も含む生徒の安全の確保

解決したサービス

- ・コナミスポーツクラブの屋内プール利用
- ・水泳専門のインストラクターによる専門的指導補助
- ・スタッフによる授業中、送迎中の安全管理



蒲郡中学校からコナミスポーツクラブ蒲郡までは400mほどしか離れていないため、生徒たちは徒歩で移動して水泳授業に向かいます。その間も道路歩行時の事故を防ぐためにコナミスポーツクラブのスタッフ2名が帯同。生徒の安全確保に余念がありません。

コナミスポーツだからできた 生徒と保護者に喜ばれる水泳授業

蒲郡中学校の岡田校長によると、初年度の水泳授業支援の終了後に生徒たちにアンケートをとったところ、「上手に泳げるようになった」「上達できた」といった回答が数多く寄せられたそうです。コナミスポーツに水泳授業を委託したことで誰よりも喜んでいただけたのは、コスト面で頭を悩ませていた学校関係者ではなく、授業の主役である生徒たち自身だったのです。

同校の水泳授業では、同校の教員が授業を取りまとめつつ、コナミスポーツクラブのインストラクター3名が指導をサポートしています。長年にわたり培われた経験に基づく指導が、生徒たちの泳力の向上に大きく貢献したことは間違いありません。「複数人のインストラクターがサポートに入ることで生徒が指導者と1対1で教わる時間が確保しやすいので、生徒が喜んでいる。そんな子どもたちの姿を見るのは保護者にとってもありがたいようで、保護者アンケートでは95%以上の方が『大いに満足している』と評価してくれています」（蒲郡市教育委員会・小澤課長）

水泳の危険も新型コロナウイルスも 万全の対策で安全・安心を確保

安全面への取り組みもコナミスポーツに水泳授業を委託する決め手になったと、教育委員会の小澤課長は言います。生徒を預かる学校からすると、命の危険にも配慮する必要のある水泳授業の安全対策は、ひととき万全でなくてははいけません。スポーツクラブの経験を活かした、教員だけの授業よりもさらに安全なコナミスポーツの支援体制は、この点でも大きなメリットだったのです。

「何かあった時の対応ではなく、何かあるかもしれないという対応を中心に行動しています。監視員は2名体制で、持ち人数も当社の適切

授業は教員1名に、コナミスポーツクラブの補助指導員3名、監視員2名の6名体制。生徒が直接指導を受ける機会が増え、泳力の向上につながります。



補助指導員が3名いることで、ビート板の使用・不使用のように生徒の習熟度に合わせた授業が可能になります。一人の教員では難しかった細やかな指導も、泳力向上の大きな要因となっています。



蒲郡市の中心部に位置する蒲郡中学校。生徒数は443人（2021年現在）で、1学年の生徒は約150人。水泳の授業は同一学年の生徒全員をまとめて行っています。



コロナ禍の指導であるため、インストラクターはマスクを着用。徹底した感染対策も、生徒の保護者の方々から支持される要因となっています。



民間のスィミングスクールとしての多くの実績、そのノウハウを学校の授業で学べるのも、水泳授業委託の利点。どうしてもバラツキがでてしまう教員の泳力を補うことも可能です。



屋内の温水プールなので、水温は年間を通じて30℃前後で保たれており、天候に左右されずに授業を実施できます。熱中症の心配もありません。

な人数を担保。学校への送り迎えも2名を派遣して、授業に安全に参加してもらっています」

（コナミスポーツクラブ 蒲郡施設責任者・岡田 弘次）

安全対策にはもちろん、新型コロナウイルスの感染対策も含まれます。例えばコナミスポーツの施設内は、小まめな清掃や消毒のほか、オゾン発生装置などを使ったウィルスの不活化が全国共通で行われています。さらに授業時であれば、目の届かないところで密にならないよう、更衣室が生徒だけにしないよう配慮。プールサイドも含め、密を避ける工夫の徹底が、生徒やその保護者、そして学校の安心につながっているのです。

地域全体で子どもを育てれば 教員の働き方改革にもつながる

蒲郡中学校の水泳授業委託が成功した要因として、もう一つ、学校とコナミスポーツとの密な連携が挙げられます。授業として成立する可能性や、その進め方、指導の割り振り、時間割は組めるのか……といった問題を、授業開始までに7カ月をかけて解消しました。こうした熱心さの背景には、子どもたちの教育は地域全体で担っていくべきだと考えるコナミスポーツの姿勢があります。そして地域と連携・協働しながら目指すべき学校教育を実現する「社会に開かれた教育課程」は、生徒のためだけでなく、学校やそこで働く教員の方々にとっても有益であるはずなのです。

「働き方改革は教員にとっても重要な問題です。そのため業務改善に向けて授業の委託だけではなく、土日の部活動も手放すことになるでしょう。今後は企業や保護者といった地域の方々の力を借りて、生徒たちを見守る体制を作っていかなければいけません。その中には、当然コナミスポーツも入っています」（蒲郡中学校・岡田校長）

MOVIE CONTENTS

本導入事例の詳細は動画でご覧いただけます



● 蒲郡中学校・水泳授業支援についてお話を伺った方



蒲郡市教育委員会
小澤課長



蒲郡市立蒲郡中学校
岡田校長



コナミスポーツクラブ 蒲郡
施設責任者 岡田 弘次

生徒の「上手になりたい!」に応える

指導者の不在を解決した 学校部活動への出張指導

部活動の技術指導をインストラクターに委託するメリットは、教員の負担減だけでしょうか？

日体大荏原高校ではむしろ、生徒ファーストを目的にインストラクターを招いたようです。

外部指導者の登用で変わる学校の部活動

東京都大田区にある、日本体育大学荏原高等学校。駅からほど近い住宅街にある学び舎に、午前7時前の早朝からたくさんの生徒が吸い込まれていきます。部活動の朝練にいそむ生徒たちのほつろとした笑顔を見ていると、こちらまで元気になってくるようです。

日体大荏原高校は、多くのアスリートや体育系指導者を輩出する日本体育大学の併設校。運動系の部活動が盛んで、硬式野球部や柔道部、器械体操部など多くの部が全国大会で実績を残しています。中でもゴルフ部は、過去5回も全国大会で優勝しており、丸山茂樹プロや伊沢利光プロといった多くのプロ選手を輩出したことでも知られています。そんな名門校でコナミスポーツのインストラクターが指導していると聞くと、いわゆるスポーツ英才教育の一環と思われるでしょう。しかし、実情は大きく異なるようです。

「プロゴルファーを何人も輩出していたゴルフ部も、次第に部員数が減って同好会になっていました。2015年に部に復帰したのですが、顧問である私にはゴルフの経験がなく技術的な指導ができません。そのため、生徒の保護者からの要請もあり、ティーチングプロにお越しいただくことになりました。」(日体大荏原高校ゴルフ部顧問・小林先生)

日体大荏原高校ゴルフ部で技術指導を行っている佐々木大輔ティーチングプロは、コナミスポーツに所属するインストラクター。公益社団法人日本プロゴルフ協会のティーチングプロ資格を持ち、延べ何千人もの指導をしてきた実績があります。現在、同部の部員は男子4名と女子3名の計7名で、その実力もまちまち。レッスンプロの父に3歳から特訓を受けている生徒もいれば、高校に入って初めてゴルフに触れた生徒もいます。そうした幅広い競技レベルのいずれにも適切な指導を行えるのは、佐々木ティーチングプロの豊かな経験とノウハウがあるからに他なりません。「スイングだけでなく競技中のラウンドの組み立て方といった専門的なことも教えていただけて、助かっています。先生と違って距離が近すぎないのも、心地よい緊張感があります。」(日体大荏原高校ゴルフ部・部員)「未経験なので最初はスイングが不安定だったんですけど、理屈からきちんと教えてもらったことで、フォームが安定するようになったと思います。」(日体大荏原高校ゴルフ部・部員)



この日の早朝練習に参加した、日体大荏原高校ゴルフ部員の4名。高校3年生が引退して、現在の部員数は総勢7名となっています。



同校の校舎内に設けられた全4打席の練習場。部員たちはゴルフの上達を目標に、この場所ですべて日々切磋琢磨しながらスイングに励んでいます。

「ゴルフの指導は基本的には1対1でもあり、スポーツクラブでも学校でも教える内容は変わりません。小さい頃から習っている生徒には、これまでの積み重ねを崩さない範囲で指導しますし、未経験の生徒にはスイングの基礎からみっちり教えます。私の指導は週1回ですが、生徒たちは毎日練習しているので成長が見て取れて、指導していてもやりがいを感じますね。」(コナミスポーツクラブ 目黒マネージャー・佐々木 大輔)



入部してから初めてゴルフに触れたという男子生徒には、基礎からしっかりと指導。様々なレベルの生徒を指導するのは、専門インストラクターにとっては日常茶飯事です。

1時間しかない朝練を無駄にしないよう、万遍なく指導してまわる佐々木ティーチングプロ。生徒へは丁寧な言葉遣いで話し、分かりやすい指導を心掛けています。



課題

- ・もっと技術を身につけたい、上手になりたい
- ・未経験の競技のため、技術面の指導ができない
- ・技術だけでなく、安全面、マナーなどの生活面の指導も必要

解決したサービス

- ・資格を持った指導者派遣による質の高い指導の提供
- ・指導員と教員とで役割を分担することで技術面、生活面、安全面をもれなくカバー

教員の負担を減らす、ではなく 生徒に最適な学びを与えたい

2018年の国際教員指導環境調査によると、日本の中学校教員の勤務時間は同調査の参加国・地域の中で、最長です。こうした状況を受けて、国は従来の外部指導者とは別に部活動指導員制度を施行。外部人員でも学校部活動の顧問を行えるよう、システムの整備を進めています。

教員の善意によって支えられてきた部活動が、働き方改革が叫ばれるようになった状況を受けて変わりつつある。現在はまさに、その過渡期にあると言えます。もっとも、部活動への外部人員の登用は教員側の都合だけではなく、部活動の主役である生徒にとっても恩恵があるようです。「生徒に『上手になりたい』という欲求がある場合、指導にあたる教員に競技経験がないと彼らの要望に応えることが難しい。そのようなケースでは、外部の方の手を借りることは、生徒に適切な学びの場を与えるという観点で有効な手段でしょうね。」(日体大荏原高校・萩原教頭)

日本の運動部活動では、競技経験がない教員が顧問を務める割合が中学で約27%、高校で約25%となっています(2021年/公益財団法人日本スポーツ協会「学校運動部活動指導者の実態に関する調査」)。せっかく時間をかけて打ち込んでいるスポーツなのだから、少しでも上手になりたいと思うのは生徒の自然な思いです。教員に運動指導の経験やノウハウがない場合、そうした向上心に応えるにはどうしたらいいのか? その方策の1つが、コナミスポーツによる部活動支援なのです。

「部活動は教育の一環でもあるので、ただ競技が上手になればいいわけではありません。その点、本校ゴルフ部では技術指導を佐々木ティーチングプロに任せているので、私はマナーなど生活面の教育と安全面の確保に注力できるのはありがたいですね。佐々木ティーチングプロには合宿や遠征にも参加いただけていますが、生徒にすれば教員以外の多様な大人に触れ、自身の意見を発信するという体験も、人間的成長につながるはずです。このゴルフ部での活動が生徒たちの多感な時期に良い影響を与えてほしいと願っています。」(日体大荏原高校ゴルフ部顧問・小林先生)

● 日体大荏原高校・学校支援についてお話を伺った方



日本体育大学荏原高等学校 萩原教頭



日本体育大学荏原高等学校 ゴルフ部顧問 小林先生



コナミスポーツクラブ 目黒マネージャー 佐々木 大輔

コロナ禍でも制限上限の1000人を集客!!

初めての人でも参加でき 地域活性化をもたらす スポーツイベントの実施・運営

スポーツ推進計画を策定したものの、その具体的な実施に頭を悩ませていませんか？

地域住民が喜ぶスポーツイベントのあり方を、とどろきアリーナを例に紹介します。



「地域の活性化」に貢献するスポーツイベントとは？

2021年7月23日、神奈川県川崎市にあるとどろきアリーナには午前中から大勢の人たちが集まっていました。老若男女、様々な年齢層の方がいる中でも、とりわけ小学生や未就学児を連れたファミリーが目につきます。メインアリーナ入口前の広場に川崎フロンターレのマスコットキャラクターの「ふるん太くん」が登場すると、声を上げて喜ぶ子どもたち。そしてその様子を楽しそうに眺めている保護者の方々。この日、とどろきアリーナでは「スポーツの日 記念事業」と題したイベントが開催され、周辺地域から多くの方が参加していたのです。

「スポーツの日 記念事業」は、川崎市と川崎市スポーツ推進委員連絡協議会、川崎市レクリエーション連盟が主催したイベント。東京オリンピックに伴って移動となった祝日「スポーツの日」に、同市の公共スポーツ施設8カ所を使って、地域住民の方が無料で楽しめるスポーツ体験会などが多数催されました。同市の中でも最も大規模な体育館であるとどろきアリーナは、市のスポーツ施設の中核施設として、「スポーツの日 記念事業」でもイベン

トの中心を担っています。

こうしたスポーツイベントの礎となっているのが、2011年に施行されたスポーツ基本法と、それに基づいて定められた各自治体のスポーツ推進計画です。例えば川崎市では、スポーツ推進計画の基本方針として以下の5つを掲げています。

これらはスポーツによる心身の健全な発達、健康・体力の維持・増進、

- ①スポーツを身近に親しむことができるまち
- ②生涯にわたってスポーツを元気に楽しめるまち
- ③スポーツを通して仲間とふれあい、地域での交流が深まるまち
- ④スポーツに挑戦する喜びがあるまち
- ⑤スポーツを通して川崎の魅力・活力が感じられるまち

人と人との交流による地域の一体感や活力をもたらすことを企図したもので、「スポーツの日 記念事業」もそうした基本方針に即したイベントと位置づけられています。とどろきアリーナの指定管理者を務めるコナミスポーツ株式会社（以下、コナミスポーツ）も当然、同方針を念頭に置いてイベントを開催。例年3500～3800人の利用があるところ、コロナ禍で大幅な制限を行ったとはいえ、約1000人の来館者を迎えるほどの盛況となりました。「とどろきアリーナでは年に数回、定期的にスポーツイベントを開催しています。目的はやはり市民の方の健康増進ですが、スポーツ施設としての役割はもちろんそれだけでなく、訪れてくれた皆様と交流し、コミュニティを形成して、地域の活性化に努めることが重要だと考えています。また、スタッフも地域にお住まいの方を採用していますし、スタッフから吸い上げた地域の情報や特色を十分に活かすことで、利用者にとっても使いやすい施設になるよう努めています」

（とどろきアリーナ施設責任者・廣川 智一）

課題

- ・住民へのスポーツの場の提供
- ・スポーツによる地域活性化

解決したサービス

- ・地域ニーズに沿った幅広いスポーツコンテンツ
- ・スポーツイベントの実施・運営



パラリンピックで知名度を増した「ポッチャ」など、珍しいスポーツが楽しめた「ニューススポーツ体験」。家族連れに人気があります。

多様なスポーツ種目を提供できる 蓄積されたノウハウやネットワーク

「スポーツの日 記念事業」で来場者を楽しませた様々なスポーツ体験会は、基本的に自治体からのトップダウンではなく、各スポーツ施設が主体となって企画しています。例えばコナミススポーツが運営・管理するとどろきアリーナでは、フライングディスクやバグー、ユニカール、シャッフルボード、ポッチャといった珍しいスポーツが体験できる「ニューススポーツ体験」や、未就学児と保護者が一緒になって運動する「親子スポーツ」など、全部で12種の催し物が実施されました（右表参照）。

これらのほぼ全てをとどろきアリーナを運営・管理するコナミススポーツのインストラクターやスタッフが担当しています。市民の方々にスポーツの楽しさを知ってもらうには、教える側がそのスポーツに精通していたり、教えることに慣れていたりしないと務まりません。また、多様なスポーツを網羅できるのも、幅広いネットワークを有する民間の事業者だからこそできるサービスと言えるでしょう。つまり施設の運営・管理だけでなく、このようなスポーツ体験会の実施に際しても、総合スポーツクラブを全国で展開するコナミススポーツの“強み”が活かしているわけです。

「今回のイベントにおける体験会もそうですが、普段当施設で行われている教室や、トレーニング室の運営に関しても、コナミススポーツが蓄積してきたノウハウが活かされています」

（とどろきアリーナ施設責任者・廣川 智一）

コナミススポーツが企画・実施するから 地域ニーズにマッチしたイベントを実現可能

とどろきアリーナで行われたスポーツ体験会の中でも、特に賑わっていたのが「親子スポーツ」と「バスケットボール教室」です。どちらも事前予約がすぐに埋まったばかりか、当日の参加者の方々のモチベーションも高く、会場となったサブアリーナや体育室はコロナ禍で大声こそ聞こえなかったものの、大変な熱気に包まれていました。

「親子スポーツ」では、3～4歳児とその保護者を対象として、親子で



人口147万の川崎市におけるスポーツ施設の中核である、とどろきアリーナ。6500名収容のメインアリーナの他、サブアリーナ、体育室、トレーニング室など豊富な施設を備えています。

EVENT 川崎市「スポーツの日 記念事業」 とどろきアリーナ実施イベント

- ・親子スポーツ（3、4歳児と保護者）
- ・ニューススポーツ体験
（フライングディスク、バグー、ユニカール、シャッフルボード、ポッチャ）
※年齢制限なし
- ・卓球 ※年齢制限なし
- ・バドミントン ※年齢制限なし
- ・やさしいヨガ ※高校生以上
- ・ボディコンバット ※高校生以上
- ・ボディパンプ ※高校生以上
- ・ズンバ ※高校生以上
- ・健康体操 ※高校生以上
- ・インボディ測定 ※高校生以上
- ・トレーニング室開放 ※中学生以上
- ・川崎プレブサンダースバスケットボール教室体験
※年中～小学1年生の初心者、小学2年生～中学生の経験者



マットを使って親子と一緒に運動をする、「親子スポーツ」の参加者。もちろんコロナ対策として、マットは使用前後にアルコール消毒を行っています。



川崎プレブサンダースによる「バスケットボール教室体験」は、未経験者と経験者を分けた2部構成。年中～小学1年生の初心者クラスでは、まずバスケットボールを楽しんでもらうことが目的です。



川崎フロンターレのマスコット「ふるん太くん」も参加した「キックターゲット」は、子どもたちに大人気。ゴールに見立てた的をサッカーボールを蹴って射抜きます。

いっしょに楽しく身体を動かす運動をレクチャー。マットの上で一緒に屈伸をしたり、丸めたマットに親子で捕まってるで電車のように動いたり、運動を通して触れ合いの場を提供することを目的としました。これらもすべて、コナミススポーツのインストラクターが考案した運動です。「初めてこういう運動をするお子さんが多いので、体を動かすことが楽しいというのを感じてもらうことを第一に考えました。このようなスポーツ施設でなくてもできる運動を体験してもらうことで、公園や家でも親子で運動を楽しんでいただけたらと思います」

（とどろきアリーナインストラクター・渡邊 寛恵）

「バスケットボール教室」は、とどろきアリーナを本拠地とするプロバスケットボール「Bリーグ」の強豪クラブ「川崎プレブサンダース」による企画です。同クラブは以前からとどろきアリーナでバスケットボール教室を開催していますが、今回のイベントではコナミススポーツからの依頼を受けて教室体験を実施することになりました。その盛り上がりは、クラブスタッフの想定を上回るものだったと言います。

「川崎だけではなく、神奈川県内のいろんなところから参加いただけたことは嬉しい誤算でした。私たちは地域に根ざしたクラブ運営をモットーとしていますが、今回のようなイベントも地域振興の一環として非常に有意義だったと感じています」（川崎プレブサンダース・山村さん）

来場・参加した人たちが心から喜ぶ スポーツの場を提供し続けていきたい

とどろきアリーナの指定管理者として、第3期6年目を迎えたコナミススポーツ。地域の活性化にどれだけ貢献できたかは、実際にイベントに来場した方々をはじめとする地域住民の評価が重要であるはず。そして、その嬉しくもありがたい声の数々は、次回以降のスポーツイベントへの大きなヒントとなって、我々の背中を後押ししてくれています。「コロナで同世代のお子さんと運動をして遊ぶ機会が減ってしまったので、とても良い体験になりました」（親子スポーツ参加保護者・女性）「子どもと一緒に体を動かして遊ぶことはあまりないので、イベントに参加できてとても楽しかったです」（親子スポーツ参加保護者・男性）「皆が気軽に来られる場所だし自然もたくさんあるし、すごくいい施設ですよ。今日もとても楽しかったので、また同じようなイベントをやっていただけたら、子どもたちと一緒に来たいです」（イベント来場者・女性）

MOVIE CONTENTS

本導入事例の詳細は動画でご覧いただけます



● とどろきアリーナ・地域イベントについてお話を伺った方



とどろきアリーナ
施設責任者 廣川 智一



とどろきアリーナ
インストラクター 渡邊 寛恵



川崎プレブサンダース
山村さん

順番待ちの補欠者が出る人気ぶり

健康長寿社会に貢献する 高齢者向け運動教室の開催

高齢化社会を迎えた日本では、高齢者の健康寿命を延伸するために「運動」の必要性が高まっています。

では、魅力ある運動プログラムはどう提供されるのか？ 東京都大田区の一般介護予防事業を例に紹介します。



課題

- ・高齢者の運動機会がない
- ・高齢者が運動する場所がない
- ・フレイル予防、認知症予防などの教室を実施したい

解決したサービス

- ・運動機会の提供
- ・運動する場所の提供
- ・専門ネットワークと独自高齢者指導のライセンスで様々な教室を実施

インストラクターへの信頼を生む高齢者向け運動指導の豊富な実績

東京都大田区にあるコナミスポーツクラブ蒲田。フィットネススタジオに流れる優美な旋律に合わせて、パイプ椅子に腰掛けた参加者の方々が上半身をゆったりと動かしています。コロナ禍なので部屋には音楽とインストラクターの声しか響きませんが、身体を動かす皆さんの顔は一様に笑顔でとても楽しそうに見受けられます。

集まった皆さんは、大田区が主催する「いきいきシニア体操」の参加者。運動制限を受けていない65歳以上の区民なら無料で参加できるとあって、直近では定員の6倍もの応募を集めた人気スクールです。「コロナ禍で受講人数を減らした影響もあって、高い競争率だったので、通えて嬉しいです。かかりつけのお医者さんに運動を勧められていた矢先に区報でこの教室を見つけて、通うことにしました」（参加者・女性）

東京都大田区の人口は、現在74万人。そのうち65～75歳が約8万人、75歳以上が8万6千人で、高齢者の割合は約22.5%を占めます。同区は高齢者の健康維持を目的に、比較的健康的で自立した生活を送っている人の介護予防や、高齢者の社会参加の支援を目的とした「一般介護予防事業」を実施。「いきいきシニア体操」は同事業の一環として区の指定を受けた事業者によって区内各地で行われており、コナミスポーツも受託事業者の1つとして協力しています。

もともとコナミスポーツクラブは60歳以上を対象とした運動スクール「OyZ（オイズ）」を展開するなど、高齢者向けの運動指導における豊富な実績があります。大田区の各地で催されている「いきいきシニア体操」の内容は各受託事業者に任されていますが、コナミスポーツクラブ蒲田が人気なのは、こうしたノウハウの蓄積も大きいでしょう。

「運動内容は私たちインストラクターに任されていますが、コナミスポーツでは高齢者に特化した運動理論の講習がありますし、プログラム内容に関する研修もあります。それらを踏まえて自分自身で考えているので、内容には自信があります」

（コナミスポーツインストラクター・樹山 由佳里）

「高齢者の方々の運動レベルはまちまちなので、関節に負担をかけない動きを基本として、無理のない範囲で確実に効果のある運動をしていたくよう考えています」（コナミスポーツインストラクター・石原 由佳）

「公民館などでも同じような体操をやっているけど、内容が全然違うんです。効果が実感できる内容で、説明にも納得がいくし、インストラクターの方がよく勉強しているのがわかって信頼できますね」（参加者・女性）



参加者は関節を痛めないようにイスに座って、上半身を中心に身体全体を動かします。コロナ禍で運動不足になっている高齢者も多いので、比較的ゆったりとした運動内容を心がけています。



「いきいきシニア体操」は、毎週木曜日の午前コナミスポーツクラブ蒲田で開催。「スポーツジムで運動をするのはやる気が出る」と、地域の方に好評です。



運動プログラムはウォームアップと本格的な運動の2部構成。2名のインストラクターが1人ずつ前半と後半を担当し、各自で考案した運動を指導します。

健康長寿社会の実現に際してコナミスポーツが できること

2021年、日本の総人口における高齢者の割合は29.1%を突破しました。これは2位イタリアの23.6%を大きく引き離れた世界1位で、他に類を見ない高齢化社会であることを示しています。スポーツ基本法はまさに、こうした状況で「スポーツを通じた健康増進を図ることで健康長寿社会の実現する」ことを目指して、2011年に公布・施行されました。

今後増え続ける高齢者に、どれだけ元気でいてもらえるか。彼らに積極的に利用してもらうために、健康づくりや介護予防に向けた取り組みを、いかに魅力的なものに仕立てられるか。日本中の自治体が抱える共通の課題に、コナミスポーツは地域社会を通じて積極的に支援しています。

「私の父は軽い転倒を機に出歩かなくなり、元気がなくなったのがあつという間に足腰を弱くして亡くなってしまいました。それで高齢者の方にとってどれだけ運動が大事なものが身に染み込んだんです。いつまでも元気でいられるよう、多くの方々に運動を継続いただきたいですね」（コナミスポーツインストラクター・樹山 由佳里）

「運動をしに来るだけでも、高齢者の方にとっては大事な社会参加になります。顔を見て声を聞いてお話しするだけでも認知機能の衰えの予防にもなります。健康長寿社会のためにも、ぜひこうした機会を増やしていただきたいです」（コナミスポーツインストラクター・石原 由佳）

● 東京都大田区・地域スポーツ支援についてお話を伺った方



コナミスポーツクラブ 蒲田
インストラクター 樹山 由佳里



コナミスポーツクラブ 蒲田
インストラクター 石原 由佳

Bリーグトップチームのホームアリーナを運営

プロスポーツ観戦+運動+αが実現する 地域住民に親しまれる総合スポーツ施設

千葉県船橋市最大の総合スポーツ施設としてプロスポーツチームの本拠地にもなっている船橋アリーナ。

常に多くの利用者が訪れる同施設ですが、その理由は運動やスポーツ観戦だけに限らないようです。

プロスポーツチームと提携して運営・管理できるノウハウと実績

コナミスポーツが2021年4月から運営・管理している船橋アリーナは、千葉県第二の規模となる船橋市が所有する総合体育館。同市は1983年に「スポーツ健康都市」を宣言し、その一貫として1993年に船橋アリーナが竣工しました。メインアリーナやサブアリーナ、温水プール、トレーニング室など多くの施設を備える船橋アリーナは、船橋市の「船橋市生涯スポーツ推進計画」の中核施設に位置づけられています。

船橋アリーナの最寄りとなる船橋日大前駅を降りると、目の前に広がるのは静かな住宅街。そこから同施設に向かって歩くと、所々にバスケットボールチームの看板が見えてきます。実は船橋アリーナは、Bリーグの強豪「千葉ジェッツふなばし」の本拠地でもあるのです。そのため指定管理業務の実施に際しては、プロスポーツチームの本拠地に対応可能な運営力も重要な業務です。

「当社は神奈川の『とどろきアリーナ』や愛知の『ウイングアリーナ刈谷』など、プロスポーツチームのホームアリーナを運営してきた実績を有しています。船橋アリーナでは興行スケジュールが綿密に組まれていますし、バスケットボールだけでなく、プロレスや大相撲の興行が開催されることもあります。資材や照明の手配、コートや客席の準備などの様々な業務がある中で、施設側のノウハウの有無は、スムーズな運営に不可欠ではないでしょうか」（船橋アリーナ施設責任者・武永 康博）

スポーツ・運動の枠を越えた コミュニティの場を目指して

メインアリーナのエンタランスに「千葉ジェッツふなばし」のユニフォームやメッセージボードが展示されているのは、プロスポーツチームのホームアリーナらしい特徴です。また、船橋アリーナにはそれ以外にも様々なスポーツに関する展示が設けられています。

例えば、日本野球の原点である東京六大学野球からプロ野球まで、日本野球史を紹介するアイテムを展示する「吉澤野球博物館資料展示室」や、船橋市ゆかりのアスリートや船橋市体育協会、船橋市立船橋高等学校、ラグビートップリーグのクボタスピアーズにまつわる展示も行われています。「ス



千葉ジェッツふなばしの試合では、多くの観客が固唾をのむことになるメインアリーナ。その他、スポーツの全国大会や「NHKのど自慢」の収録などが行われることも。

課題

- ・大型スポーツ施設の有効活用

解決したサービス

- ・プロスポーツチームと連携した施設の活性化
- ・多岐にわたる利用促進策による幅広い利用者の来館

スポーツ健康都市」を宣言し、スポーツ団体や市立船橋高校の各運動部など多くのチームがあり、ゆかりのあるアスリートが活躍する船橋市。こうした市のスポーツ情報を発信する場としても、船橋アリーナは機能しています。

「船橋アリーナはスポーツや運動といった範疇を越えて多目的に使っていただける、コミュニティの場でもあると思っています。近隣の方だけではなく、船橋市全域、もしくは千葉県の至るところから、多くの方にお越しいただける施設にしていきたいですね」（船橋アリーナ施設責任者・武永 康博）

アリーナやトレーニング室、弓道場など、様々な施設を利用して運動を楽しむ。メインアリーナでスポーツを観戦する。展示室でスポーツの知識を得る。船橋アリーナ。和室では生け花などのワークショップが開かれている他、楽器奏者によるロビーコンサートや唸家によるワンコイン寄せといった文化・芸術活動も盛んに行われています。船橋アリーナは、スポーツや運動だけでなく地域のコミュニティにおいても中核となる施設なのです。

Bリーグの強豪チーム「千葉ジェッツふなばし」のホームアリーナでもあり、シーズン中はたくさんの観客が観戦に訪れ賑わいを見せています。



船橋市にゆかりのあるチームやアスリートの情報を展示する専用スペース。運動やスポーツ観戦以外の目的で訪れても楽しめるアリーナとなっています。

観客席数4240を誇るメインアリーナのほか、温水プール、弓道・アーチェリー場、トレーニング室などの運動施設以外に、展示室や和室などの文化的な施設も備えます。



●船橋アリーナ・施設運営についてお話を伺った方



船橋アリーナ
施設責任者 武永 康博

MOVIE CONTENTS

本導入事例の詳細は動画でご覧いただけます



with コロナでも全中バレーボール大会を無事に開催

コロナ禍でも安全・安心に 大規模大会を開催する方法とは？

現在、大規模大会の開催において最も注意を払わなくてはならない新型コロナウイルスの感染対策

コナミスポーツが指定管理者を務めるさいたま市記念総合体育館を例に、その実際を紹介します。

百万都市「さいたま市」でも屈指の 大型スポーツ施設の指定管理者を務める

埼玉県さいたま市の西側、荒川河川敷を利用した秋ヶ瀬公園と隣り合うように立つ総合体育館が、「さいたま市記念総合体育館」です。観覧席数 2954 のメインアリーナ以外にも豊富な施設を備え、年間利用者数は 40 万人超。人口 130 万人のさいたま市の中でも屈指の規模を誇る公共スポーツ施設です。コナミスポーツが指定管理者となり、2021 年で 4 年目になります。

「非常に大きな施設で利用者数も多いので、運営・管理には常に気を引き締めてあたっています。メインアリーナでは国際的な大会やプロ選手を招いた大会が開かれることもありますし、4 月から 9 月前半までは中学校や高校の大会が頻りに開かれていますね」

(さいたま市記念総合体育館マネージャー・榎本 通子)

当たり前の対策をしっかりと行うから大規模な大会も開催できる

強い日差しが照りつけた8月のある日も、さいたま市記念総合体育館ではバレーボールの全国中学校大会が開かれ、メインアリーナには子どもたちのはつらつとした声が響いていました。もっとも、時節柄聞こえてきたのは出場選手の声のみ。観客は一部の保護者・関係者に限られ、観客席には一定の間隔が設けられています。さらにはアルコールスプレーを携えたスタッフが巡回して、常に清掃を実施。入口では検温スタッフが常駐して、入館者の体調確認を行っています。

コロナ禍であっても「スポーツを楽しみたい」と願う子どもたちのためにできることは？ コナミスポーツが導き出した「感染対策の徹底」という当たり前の解答が、ここでは粛々と実行されていました。「体育館を貸し出しの際は、大会やイベントの代表者とともに密に打ち合わせます。防犯体制や警備体制はもちろん、いま特に気を払っているのが、利用者の体調確認や清掃作業といったコロナ対策です。公共の施設は、何よりも安全が第一ですからね」(同・榎本 通子)

課題

- ・大規模大会の開催
- ・コロナ禍での大会開催

解決したサービス

- ・過去の実績に基づく大会開催に対する的確な支援
- ・コロナ禍での大会開催に際し徹底した対策の実施

メインアリーナ以外にもサブアリーナ、温水プール、トレーニング室、弓道場など様々な施設を備え、地域住民のスポーツ活動の場として親しまれています。



この日開催されていたのは、日本中学校体育連盟が主催する全国中学校大会のバレーボール大会。コロナ禍のため、控え選手も監督も含めコート上の選手以外は全員マスクを着用していました。



大会中も施設内を大会運営スタッフが巡回。人が触りそうな箇所は優先して、アルコールによる清掃を実施します。



入口は 1 か所に限定して、出場選手はもちろん、監督や保護者といった関係者の全員に検温とアルコール消毒を実施していました。

●さいたま市記念総合体育館・施設運営についてお話を伺った方



PPP 事業本部 PPP 施設運営第 1 部
部長 亀谷 忍



さいたま市記念総合体育館
マネージャー 榎本 通子

地域に密着し 地域ニーズに即した施設の運営



アリーナ土居は、メインアリーナ、サブアリーナ、プール、マシンジム、大浴場など、地域のスポーツ振興・健康増進に必要な機能を一通り備えます。



愛媛県の東端に位置する人口 8 万の自治体、四国中央市。2004 年の「平成の大合併」で 2 市 1 町 1 村が合併してできた東西に長い同市の、その西側に立つ総合スポーツ施設がアリーナ土居です。コナミスポーツが指定管理者となり、2021 年で 15 年目。もともと旧土居町のスポーツの中核施設として開業しており、旧土居町エリアに根差した運営を行っています。

60 歳以上が約 4 割という利用者層に合わせて高齢者向けの運動プログラムを充実させたり、サブアリーナを無料開放するなど、地域ニーズを汲み取った、地域密着のフレキシブルな管理・運営が行われています。

課題

- ・スポーツ施設運営の専門的ノウハウの不足
- ・高齢化の進行

解決したサービス

- ・蓄積したノウハウを生かした施設の管理運営
- ・高齢者向け健康づくりの充実
- ・スポーツを通じた地域コミュニティの活性化



サブアリーナを定期的に活用している、地元の卓球愛好団体のの方々。施設開業時から、地元住民の方々に積極的にご利用いただいています。



地元の中学校のスポーツ大会や、ミニバスケットボールの試合など、地域の方々がメインで参加するイベントが多いメインアリーナ。地域初となる専用綱引きコートも設置されています。



施設内にとどまらない 市内全域のスポーツ推進と健康増進への貢献

すぽっしゅ TOYOHAMA(豊浜)は、愛媛県との県境の街、香川県は観音寺市にある総合スポーツ施設です。2006 年の施設開業時からコナミスポーツが指定管理者となり、2021 年で 16 年目。人口約 5.7 万人、香川県で 5 番目の規模を誇る同市で最大のスポーツ施設として、フット

サル四国大会や、市の小学校のバレーボール大会など、大小さまざまなスポーツ大会が催されています。

通常のサービス提供はもちろんのこと、小学校での着衣泳指導や保育園での運動指導を行っているのも同施設の特徴。これら外部指導の多くは、コナミスポーツ側から自治体に提案して実現しており、自治体と密な信頼関係が育まれている証と言えるでしょう。

課題

- ・地域住民の健康増進
- ・施設に来られない方への運動指導

解決したサービス

- ・専門的な運動指導
- ・施設外での運動指導による市内全域のスポーツ振興、健康



25 m x 7 コースの広々としたプールでは、高齢者の方も気軽に参加できるプールアクアエクササイズやウォーキングを楽しんでいます。



高齢者向けの健康づくり教室や、未就学児を対象としたスポーツトレーニング教室など、幅広い年代に対応したプログラムが用意されています。



自治体住民の会員率は驚異の 5.3% !!

地域コミュニティの中心となる 総合スポーツ施設の運営・管理

なかなか上がらない住民のスポーツ実施率に、財政を圧迫しがちな大型スポーツ施設の維持管理費。

これら自治体の悩みの種を一挙に解決したのが香川県琴平町。どうしてそんなことができたのでしょうか？

スポーツ・運動を通じた地域住民の「いこいの場」を創出

民間スポーツクラブのノウハウの活用で地域に高品質なスポーツ・運動環境を構築できるだけでなく、スポーツクラブ産業を核に地域経済も成長するかもしれない……。そうした可能性を探るために経済産業省が主催している、「地域×スポーツクラブ産業研究会」。同研究会の第1次提言で「地域とスポーツクラブの良好な関係」の成功事例として取り上げられたのが、「ヴィスポことひら」です。

香川県琴平町。人口約 8200 人、面積 8.5km²に満たないこの小さな町に初めてできたスポーツ施設は、その成り立ちからしてユニークです。金刀比羅宮とこんびら歌舞伎を主軸とする観光の街であった琴平町は、観光施設整備が行政施策として優先され、地域住民がくつろぐ「いこいの場所」がありませんでした。また、スポーツ施設もないため住民は小中学校の施設を時間外利用する他なかったそうです。

ヴィスポことひらは、それらの地域課題を同時に解決する目的で作られました。つまり、住民のコミュニティの場であることが、初めから志向されていたのです。

指定管理者を務めるのは、コナミスポーツ、維持管理会社、PR 会社の共同体による「ことひらいこいの郷パートナーズ」。運営資金はヴィスポことひらの会費等でまかなわれており、運営権料を琴平町に納める事実上のコンセッションとして、全国の先駆けとなる事例です。

1996 年に事業がスタートし、2004 年に開業したヴィスポことひら。コナミスポーツが運営に携わり 2021 年で 18 年目になりますが、施設の管理運営を通じて、住民主体の総合型地域スポーツクラブの育成を行うほか、ジュニア世代向けの小学校の水泳指導や高校の部活動指導、シニア世代向けの介護予防の運動指導などを率先して行ってきました。また、地元宿泊施設と連携して地域外クラブの合宿を誘致するなど経済面でも貢献。地域住民の生活に欠かせない中核拠点として、いこいの場を創り上げてきました。

「300 名超の参加がある町民体育祭の場となっているだけでなく、コロナ禍では私たちから自治体に提案して、成人式の会場にもなりました。運動に限らない多目的な場所として、たくさんの方々に利用いただいています」（ヴィスポことひら 施設責任者・東尾 直樹）



マッサージチェアに身を委ねたり新聞を読んだり、施設を訪れた人たちが思い思いにくつろいでいます。まさにいこいの場となっていることが伺えます。

課題

- ・ 町民のスポーツ実施率の停滞
- ・ 地域住民のいこいの場の不足
- ・ 町財政のひっ迫

解決したサービス

- ・ 町民の高いスポーツ参加率
- ・ スポーツを通じた町民いこいの場の提供
- ・ 町財政への貢献

住民の 5.3%が利用する人気の秘訣とは？

ヴィスポことひらの会員は町民全体の 5.3%にのぼり、驚異的な参加率の高さを誇ります。なぜこのような高い数字を達成、維持できているのか？ 施設のクオリティも含め、民間スポーツクラブと同等のサービスレベルが実現できていることが一因であることは間違いありませんが、理由はそれだけではありません。

例えば利用者の中には温浴施設だけを目的に訪れる人もいて、顔なじみの方と会話を楽しんでいます。施設で展開されているプログラムに目を移せば、スポーツ・運動に限定されることなく、バルーン教室や似顔絵教室といった文化系のイベントも定期的に開催されていることがわかります。

「ヴィスポことひらは総合スポーツ施設ではありますが、地域の皆さままいこいの場として親しまれているのが、高い会員率に結びついていると思います。あそこに行ったら楽しいな、くつろげるなど思える場所があって、そこでは毎日のようにスポーツ・運動が行われている。通っているうちに興味を持って、自分も運動をしてみたくなる……といった流れが、特に高齢者の方々にとっては運動へのハードルが下がるのかもしれない」（同・東尾 直樹）

これからの自治体に求められる、スポーツ・運動の推進。ヴィスポことひらには、その大きなヒントが隠されています。

●ヴィスポことひら・施設運営についてお話を伺った方



ヴィスポことひら
施設責任者 東尾 直樹



メインアリーナ、サブアリーナ、プール、スタジオ、マシンジム、温浴施設、屋外グラウンドと充実した設備のヴィスポことひら。町の中心部から近く、アクセスも良好です。



マシンジムとスタジオも、たくさんの利用者で賑わっていました。性別・年齢を問わず、様々な方に利用されていることがわかります。



アクアストレッチ&ウォークやジョギング、アクアピクスなど、低負荷の運動で高齢者に人気の高いプール施設。



ヴィスポことひらがある「いこいの郷公園」は、ゲートボール場やテニスコート、陸上トラックや野球グラウンドにもなる多目的の広場を備備。屋内運動に限らず、あらゆるスポーツが楽しめます。

PPP（官民連携）における

コナミスポーツの特長

官民連携事業(PPP)でコナミスポーツが自治体に貢献できる理由とは

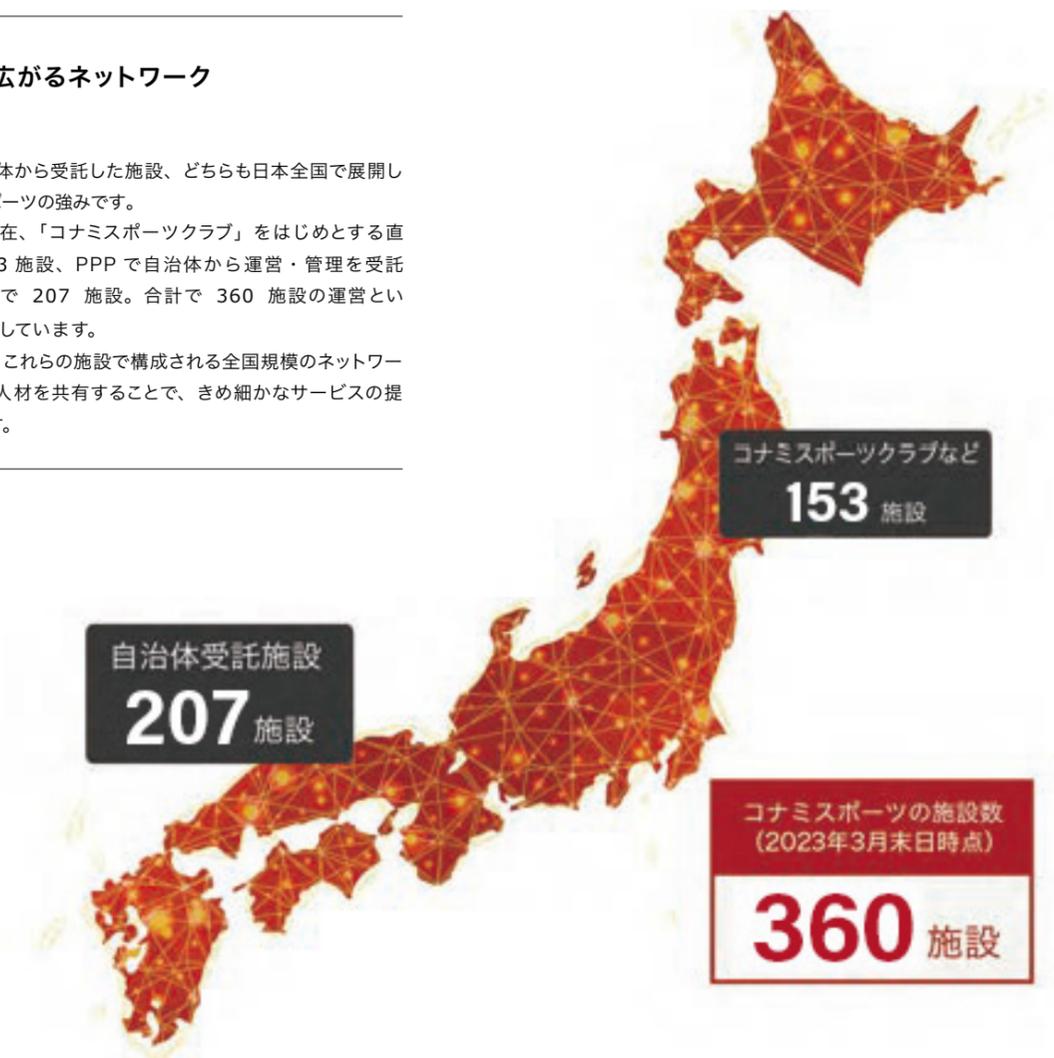
スポーツ分野の PPP（Public-Private Partnership）において、コナミスポーツは多数の実績を積んできました。公共施設の運営・管理や学校の授業支援、大規模イベントの開催など、公共の場でなぜ私たちがお役に立てるのか？「スポーツで未来を創る」ソリューション・パートナー、コナミスポーツならではの特長を紹介します。

01 全国に広がるネットワーク

直営の施設と自治体から受託した施設、どちらも日本全国で展開しているのがコナミスポーツの強みです。

2023年3月現在、「コナミスポーツクラブ」をはじめとする直営施設は全国で153施設、PPPで自治体から運営・管理を受託した公共施設は全国で207施設。合計で360施設の運営という、確かな実績を有しています。

コナミスポーツは、これらの施設で構成される全国規模のネットワークを構築し、情報や人材を共有することで、きめ細かなサービスの提供を可能にしています。



02 スポーツ・運動に関するノウハウ

1973年に創業したコナミスポーツは、総合型スポーツクラブのトップランナーとして多様な事業やスクールを展開。約50年の間、国内におけるスポーツ・フィットネス環境の発展に貢献してきました。

その長い歴史を通じて、コナミスポーツには運動指導のノウハウが数多く蓄積されています。また、専門機関などとの連携により、運動や身体、健康に関する知識の向上にも努めてきました。コナミスポーツはこうした知見を元に、スポーツ・運動の課題を解決する最適なソリューションを提供。専門家の立場から、自治体や学校の方々を支援しています。

豊富な業務受託実績により 幅広いニーズに対応できます

コナミスポーツは、総合型スポーツクラブとして全国で150を超える直営施設を展開してきたノウハウにより、一般的な「ダイエット」「体カづくり」「筋力トレーニング」だけでなく、高齢者向けの「ロコモティブシンドローム予防」「認知症予防」運動、赤ちゃん向けの「ベビークラス」、お子さま向けの各種運動スクールなど、年齢や性別を問わず多様なニーズに応えることが可能です。

また、公共施設のPFIや指定管理者、業務受託において過去20年以上にわたる潤沢な実績があり、200を超える施設で運営経験を有しています。これらの日本全国で培ってきた豊富な事例に基づき、住民の年齢構成や地域の特性などに応じて最適な事業手法（スキーム）を提案することが可能です。



総合型スポーツクラブと聞くと若年～中年層の利用をイメージされるかもしれませんが、コナミスポーツは高齢者に向けた運動指導のノウハウもしっかりと備えています。



スポーツ・運動は、性別や年齢を問わずことなく一生必要なもの。コナミスポーツならどのようなライフステージでも、運動する人々に寄り添うことが可能です。

コナミグループによる スポーツ支援

コナミスポーツは「体操競技部」と「水泳競技部」を設けて、部員の心身の健全な成長と、世界に通用する選手の育成を目標に活動しています。また、国内有数の水泳大会「コナミオープン水泳競技大会」（公益財団法人日本水泳連盟公認）も主催。小学生から日本代表選手までが同じ舞台で競う場を提供し、未来に羽ばたく選手たちをサポートしています。そのほか、日本を代表するスポーツ選手および指導者を支援する「上月財団」や、グループ会社による一般社団法人日本野球機構のスポンサー活動などを通じて、スポーツの振興と発展を応援しています。



コナミスポーツ体操競技部



コナミスポーツ水泳競技部



コナミオープン水泳競技大会

コナミスポーツクラブのサービス例 (大人向け)



スタジオ



パーソナルトレーニング



プール



ウェルネス



ダイエット



カルチャースクール



60歳からの運動スクール



テニススクール



ゴルフアカデミー



卓球スクール



ボールドラミング



マシンジム

子供用



スイミング



体操スクール



ダンススクール



サッカースクール



テニススクール



卓球スクール



ゴルフスクール



チアダンススクール

03 知識と経験豊富なスタッフが多数在籍

総合型スポーツクラブとしての長い歴史は、インストラクターといった社内スタッフの育成においても、大きなアドバンテージとなっています。

コナミスポーツでは、施設で培われた指導ノウハウや、運動や身体、健康に関する知識は社内でも一元化され、スタッフに共有されます。また、スタッフの業種別に段階的かつ定期的な研修を実施して、各自のスキルアップも促進。独自の人材育成体制を構築するだけでなく、人材育成のノウハウも共有することで、スタッフは効率よく知識と経験を得ることが可能となっています。

コナミスポーツには、子どもから高齢者、初心者からアスリートまで、様々な年代、立場の方を指導できるスタッフが多数在籍しています。彼らは全国規模のネットワークでつながっているため、日本のどこであっても、安定したサービスを提供することが可能です。



未就学児や学生から、高齢者まで、老若男女を問わずにスポーツ・運動を指導可能です。オリジナルのカリキュラムにも、コナミスポーツクラブで蓄積されたノウハウが反映されています。

04 信頼を担保する様々な認定

コナミスポーツは事業の推進に関連する各種の認定を受けています。代表的なものとして、以下の4つを紹介します。

プライバシーマーク (個人情報保護)



「プライバシーマーク」は、日本産業規格「JIS Q 15001 個人情報保護マネジメントシステム—要求事項」に適合した適合して、個人情報について適切な保護措置を講ずる体制を整備している事業者等を評価する制度です。

コナミスポーツは「スポーツ施設運営」の業務区分として初めて、このプライバシーマークを取得しました。個人情報保護に関する研修の実施や、個人情報漏洩時の対応の構築など、個人情報について適切な保護措置を講じる体制を整備しています。

東京都スポーツ推進企業



「東京都スポーツ推進企業」は、従業員のスポーツ活動の促進に向けた優れた取り組みや、スポーツ分野における支援を実施している企業などを東京都が認定する制度です。

コナミスポーツはアスリートの社員雇用や運動・健康に関する様々なノウハウを生かしたスポーツ推進への取り組みなどが評価され、本制度の開始以来7年連続で「東京都スポーツ推進企業」に認定されています。

スポーツエールカンパニー



「スポーツエールカンパニー」は、運動不足である「動き盛り世代」の健康増進を目的に、従業員のスポーツ実施に向けて積極的に取り組んでいる企業を認定する制度です。

コナミスポーツは、コロナ過における従業員への「継続的な運動提案を目的とした、フィットネス動画配信サービスの提供」や「各種スポーツの練習ポイント等の動画配信と利用促進」の取り組みなどが評価されて、スポーツ庁より2年連続 (2020年、2021年) で「スポーツエールカンパニー」に認定されました。

Sport in Life プロジェクト



「Sport in Life プロジェクト」は「一人でも多くの方がスポーツを楽しむ、スポーツを行うことが生活習慣の一部となるような社会」を目指して、スポーツ庁が推進するプロジェクトです。国民のスポーツ参画を促進するために取り組んでいる団体が、参画団体として認定されます。

コナミスポーツは、総合型スポーツクラブとしてのサービスの提供や、自治体向け地域支援サービスの提供、各種スポーツイベントの運営などの取り組みが評価され、「Sport in Life プロジェクト」の参画団体として認定されました。

05 SDGs の取り組み

SDGs (Sustainable Development Goals) は、日本語にすると「持続可能な開発目標」。2030年までに持続可能でよりよい世界を実現する国際目標で、2015年に国連サミットで採択されました。17のゴール、169のターゲット、232の指標から構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。

現在、世界中の国や企業、自治体、アカデミア、市民社会、そして一人ひとりが、社会課題や環境課題に向き合い、サステナブルな社会の構築に向けて活動しています。もちろん、私たちコナミスポーツも「SDGsの達成に貢献する事業活動」を展開しています。

コナミスポーツは、SDGsで定められたゴールの中でも、特に「教育」「経済成長と雇用」「エネルギー」「不平等」「気候変動」「健康」において、地域社会に貢献できると考えています。その他、「脱炭素社会の実現/クリーンエネルギー」「デジタル化推進/技術革新」の観点からも、SDGsを意識した取り組みを推進しています。



コナミスポーツの安全対策

6つの新型コロナウイルス感染症対策

スポーツ・運動においては、その環境が安全・安心でなければいけません。コナミスポーツのPPP事業では、新型コロナウイルス感染症の対策として以下の6つの取り組みを徹底して行っています。



01. 検温・消毒の徹底

施設入館時に利用者の検温を行い、発熱があった場合は入館をお断りしています。また、施設内の各所に消毒液を設置して、利用者の小まめな消毒を促しています。

- ・ 消毒液の設置&増設
- ・ 利用者の体調確認



02. 清掃・換気の徹底

施設の定期的な清掃に加えて、ウイルスの不活化に効果があるアルコール消毒も小まめに実施。施設内の換気も徹底することで、感染リスクを最低限に抑えます。

- ・ アルコールによる清掃と換気の徹底
- ・ ツール清掃の徹底



03. スタッフの衛生管理

出勤前・出勤時の検温や体調確認、手洗い、うがいはもちろんのこと、お客様と接する際にはマスクの上からフェイスシールドを着用するなど、スタッフの衛生管理に努めています。

- ・ マスク、フェイスシールド、手袋の着用
- ・ 定期的でこまめな検温報告
- ・ 手洗い、うがいの徹底



04. 密の防止

観客席やロッカーの間引き使用、教室参加者数の制限、トレーニングマシン間のパーティションの設置などを実施し、密を防ぎます。

- ・ ソーシャルディスタンスの徹底
- ・ プログラム間隔を空けて人数も制限
- ・ マシン間の飛沫防止シートの設置
- ・ 利用者間の接触の禁止



05. マスク利用の徹底

施設の利用者にはマスクの着用を義務づけ、守っていただけない場合は利用をお断りしています。また、利用者間の会話も控えていただくようお願いしています。

- ・ マスク着用をお願い
- ・ 利用者間の会話自粛をお願い



06. オゾン発生器の導入

空気を自浄し、ウイルスの不活化や除菌、脱臭に強い効果を持つオゾンの発生機器を館内に設置。ウイルスや菌に効果を発揮して、環境の安全性を高めます。

- ・ オゾンによるウイルスの不活化
- ・ オゾンによる除菌&脱臭

その他の安全面への取り組み

コナミスポーツは「安全・安心・快適」を運営指針としており、自治体支援事業の実施に際しても、利用者の安全を守るための様々な対策を講じています。これにより、事故の予防や、万が一発生した際の迅速な対応を可能にしているのです。ここでは、代表的な4つの取り組みについて紹介します。



01. AED・CPR(心肺蘇生法)ライセンス取得の徹底

スタッフには財団法人日本スポーツ施設協会の公認ライセンスである「スポーツ救急手当インストラクター」の取得を義務化。これにより、スタッフ全員がAED(自動体外式除細動器)の操作とCPR(心肺蘇生法)を行うことができます。



02. 定期的な研修・訓練の実施

消防法に基づいた防災訓練や防災無線訓練といった研修・訓練を1年に3000回以上実施。^{*} スタッフの誰もが、非常時でも落ち着いた行動ができるように備えています。

※全国各施設での合計回数

03. 50以上の緊急時対応マニュアルの作成

緊急時に備えて、各種マニュアルの作成と周知を徹底しています。コナミスポーツでは、全国の各施設で起きた事故、施設不備、トラブルといった情報をデータベースに集約。その傾向と対策を各施設の運営に反映させることで、再発防止に活かしています。

04. 安全の日の設定

毎月1回、安全の日を設定。その月にあった「ヒヤリハット」を含む事故を振り返り、対策を確認するミーティングを行っています。その他、同日には備品類の安全の総点検も実施しています。

コナミスポーツの学校支援

施設の老朽化や維持費用の負担、専門指導員の不足など、多くの課題が生じている学校の授業・部活動。

コナミスポーツ株式会社がこれらの課題克服をどのように支援しているのか、水泳授業を例に紹介します。



例えば、水泳の授業でこんな課題はありませんか？

学校運営の課題

- ・ 施設の老朽化による修繕費増加
- ・ 維持管理費用の負担が大きい

教員の悩み

- ・ 水泳の指導に自信がない
- ・ 事故が心配
- ・ 施設の管理業務が負担

生徒の悩み

- ・ 水泳が苦手
- ・ 技術をもっと向上したい
- ・ 天候で授業が中止される

課題を解決する コナミスポーツの学校支援

総合型スポーツクラブの充実した施設設備と、約50年にわたって培ってきた指導ノウハウを活かして、コナミスポーツ株式会社は喫緊の課題である「学校授業・部活動の地域移行」や「教員の働き方改革」を実現します。

施設と人員を提供して、 授業・部活動の地域移行に貢献します

「施設のための貸し出し」から「フルパッケージでの授業・部活動支援」まで、ニーズに応じたサポートプランを提案できるのが、コナミスポーツの強みです。「高コストな施設の維持管理」「教員の働き方改革」といった課題を解決できるよう、授業・部活動の地域移行をお手伝いします。

01 質の高い指導の提供

コナミスポーツは約50年にわたって、総合型スポーツクラブとして全世代に向けたスポーツ・運動の指導を行ってきました。特にお子さま向けの「運動塾」では独自のカリキュラムに沿って、お子さまの年齢や体力、技術に応じた段階別指導を実施。得られたノウハウは蓄積され、全国のインストラクターに共有されています。

学校におけるスポーツ・運動の指導では、教員の指導力のバラツキにより、生徒の習熟にも差が生じてしまいがちです。コナミスポーツの学校支援では、専門性の高いインストラクターによる高品質な指導を、新学習指導要領に準拠した内容も加えて提供します。さらには、補助指導員を複数設けることで、指導員1人あたりが受け持つ生徒の数を減らすことも可能です。これにより、生徒の学習の達成という目指すべき目標に、効率よく近づくことができます。



高い指導力を備えた専門インストラクターを補助指導員として活用することで、生徒1人1人に目が行き届いた指導が可能になります。

02 安全第一の運営体制

インストラクター1人が指導するお子さまの人数に独自の基準を設けているのも、コナミスポーツの学校支援の特徴です。授業では常にこの基準に則って、生徒の数に合わせた適切な数の補助指導員を配備しています。特に水泳の授業では事故が命の危険に繋がりがちなことから、プール監視員も常時2名体制とする、厳格な安全基準を適用し、安全を重視した授業を行っています。

また、コナミスポーツのインストラクターには、益財団法人日本スポーツ施設協会の公認ライセンスである「スポーツ救急手当インストラクター」取得を義務づけています。スタッフ全員がAED（自動体外式除細動器）の操作とCPR（心肺蘇生法）を行えるため、万が一の事態でも、適切な処置を施すことが可能です。生徒の安全を確保し、保護者の方々や学校関係者に安心を提供できるよう努めています。



指導員と補助指導員の他に、プール監視員も配備。その全員が「スポーツ救急手当インストラクター」の資格を持っています。

03 年間を通じて快適な運動環境

コナミスポーツの施設は、民間総合型スポーツクラブに求められる水準を満たして運営されています。例えばプールの場合、多くの学校が屋外施設であるのに対して、コナミスポーツではその全てが屋内プールで、水温は年間を通じて30℃前後を保持しています。つまりコナミスポーツの施設を利用することで、天候に左右されることなく、順調に授業を消化することが可能になるというわけです。

ほかにも、男女別の更衣室・シャワーブース・採暖室（休憩中などに暖を取ることができる部屋）といった設備も充実。プールの水質チェックも1時間ごとを実施しているので、衛生面でも安心してご利用いただけます。プール清掃や水質管理といった業務から開放されることにもなるので、教員の負担も減少。昨今重視されるようになった、学校における「働き方改革」にも貢献します。



屋内プールの水温・室温は、1年中快適な数値をキープ。夏に限らず、秋や冬であっても水泳の授業を行えます。

水泳授業の支援プラン例

コナミスポーツの水泳授業支援では、学校に代えてコナミスポーツクラブのプール施設を利用するだけでなく、指導員や補助指導員の有無も選べます。

主なプランは下記の3タイプですが、生徒数や授業の実施回数、実施内容といったニーズに合わせてアレンジが可能です。お気軽にご相談ください。



施設のみ利用する



コナミスポーツの施設を利用して、授業の指導は学校の教員のみで行っていただきます。

施設：コナミスポーツ
指導者：学校教員
指導補助：学校教員

メリット

- 施設維持費の削減
- 計画的な授業実施

施設と指導補助を利用する



コナミスポーツの施設を利用して、授業の指導をコナミスポーツスタッフが補助します。

施設：コナミスポーツ
指導者：学校教員
指導補助：コナミスポーツ

メリット

- 施設維持費の削減
- 計画的な授業実施
- 安全＆専門的な授業展開

指導員派遣・水質管理



コナミスポーツクラブスタッフを学校へ派遣します。また、プールの水質管理も派遣スタッフがを行います。

施設：学校
指導者：学校教員
指導補助：コナミスポーツ

メリット

- 教職員の負担軽減
- 安全＆専門的な授業展開
- 適切な水質管理の実施

水泳以外にも様々なスポーツに対応します。授業支援、部活動支援など、まずはご相談ください。



サッカー



テニス



ゴルフ



体操



卓球



ダンス

コナミスポーツが自治体から信頼される理由

「地域 × スポーツクラブ産業研究会」委員として

「地域 × スポーツクラブ産業研究会」第1次提言

● 問題意識1

地域スポーツクラブを核とした、産業クラスター形成の可能性

● 問題意識2

ジュニア世代のスポーツ基盤である「学校部活動」の持続可能性の危機

● 関連論点1

トップスポーツの成長産業化による、スポーツ資金循環の形成

● 関連論点2

自治体とスポーツ産業、各自の施設運営・改修負担の緩和

● 関連論点3

プロフェッショナルとしてのスポーツ指導者の確保

● 関連論点4

リアルとデジタルが融合した総合放課後サービス業の創出

成功事例としての「ヴィスポことひら」

「地域 × スポーツクラブ産業研究会」は2021年7月、2020年10月から2021年3月までに10回開催した議論の内容を取りまとめて、第1次提言として発表しました。その中では、「ジュニア世代のスポーツ基盤である『学校部活動』の持続可能性の危機」を含む2つの問題意識と4つの関連論点がまとめられているほか、同研究会が考える「地域とスポーツクラブの良好な関係」の成功事例として、コナミスポーツが指定管理者として運営・管理する、香川県琴平町の公共スポーツ施設「ヴィスポことひら」が取り上げられています。

「ヴィスポことひら」はコナミスポーツによって総合型地域スポーツクラブとしてマネジメントされているだけでなく、ジュニア世代向けに小学校の水泳指導や高校の部活動指導、近隣の地元宿泊施設と連携した地域外クラブの合宿誘致も展開しています。他にもシニア世代向けの介護予防のための運動指導など、「地域コミュニティの交流の場」としても機能していることが評価されました。

地域に根ざしたスポーツ企業として

「地域 × スポーツクラブ産業研究会」の第1次提言を受けた公募では、そのフィージビリティスタディ（実証事業）としてコナミスポーツの「学校施設を中心とした地域 × スポーツクラブ産業の融合による社会システムの検証」が採択されました。同事業は、地域スポーツクラブがサービス業として自立しつつ、部活動の受け皿となりうるための課題を抽出し、検証することが目的です。

コナミスポーツは、これまで蓄積したスポーツ・運動指導の実績を活かして、部活動指導における教員の負担軽減や、部活動指導員のさらなる質の向上などを推進する予定です。そして、学校が抱える様々な課題をともに解決し、地域に根ざしたスポーツ企業としての新たな可能性を模索していきます。

参考：地域 × スポーツクラブ産業研究会の第1次提言について



コナミスポーツの地域スポーツ支援

健康寿命やスポーツ実施率、地域の賑わいなど、スポーツ・運動の課題は自治体によって様々です。

コナミスポーツ株式会社は全世代へのスポーツ体験を提供して、地域社会の課題克服を支援します。



地域社会のスポーツ・運動でこんな課題はありませんか？

健康寿命の課題

- ・ 高齢者の運動機会を増やしたい
- ・ 高齢者向けの運動指導者がいない

スポーツ実施率の課題

- ・ 地域のスポーツ実施率を向上させたい
- ・ 運動する環境を住民に提供したい

地域の賑わいの課題

- ・ 人口減少や少子化で地域に活気がない
- ・ スポーツイベントに人が集まらない

課題を解決する
コナミスポーツの地域支援

独自の高齢者指導ライセンスの推進や子ども向け運動スクール「運動塾」などのノウハウを活かし、コナミスポーツ株式会社はライフステージを問わない「スポーツ実施率向上」と「地域の活性化」を実現します。

スポーツと運動で人々を元気にして 地域振興の礎を作ります

ますます多様化する生活環境の中にあっても、日常からスポーツに取り組む機会を増やすことはできるはず。コナミスポーツの地域支援事業は、スポーツを通じてあらゆる年代の方々に健康でいきいきとした毎日を送っていただくことで、地域振興の礎を作ります。

01 高齢者でも運動しやすい環境づくり

「人生100年時代」に向けて社会課題となっている、健康寿命の延伸。介護予防・健康づくりとしての運動需要の高まりに伴い、コナミスポーツは全国の自治体・介護予防事業者からの要請を受けて、「高齢者健康づくりプログラム」の運営・支援活動を行っています。

コナミスポーツの高齢者向けプログラムは、高齢者に特化した社内独自の指導ライセンス「高齢者健康づくり指導員」を有する経験豊富なスタッフが監修。専門スタッフのネットワークにより、多数の教室の開催・運営が可能です。また、コナミスポーツクラブの施設の提供はもちろんのこと、地域の公民館や集会所への出張指導など様々な形で対応しています。

こうした取り組みは自治体からも評価され、2020年には東京都八王子市からは「はちおうじ人生100年サポート」として認定を受けました。



参加者の運動ステージに応じて、「高齢者健康づくり指導員」資格を持ったコナミスポーツのインストラクターが、独自にプログラムを考案しています。

02 スポーツ・運動を楽しむ環境の提供

スポーツ基本法の施行により、自治体には、自主的かつ主体的なスポーツ施策の実施が求められるようになりました。これらは「子どもの体力・運動能力の低下」や「健康寿命の延伸」といった課題の解決につながることから、地域住民のスポーツ・運動実施率の向上と、それに必要となる環境の整備は自治体の責務となっています。

コナミスポーツの地域支援事業では、自治体のスポーツ施策をサポートするために、若年期から高齢期までのライフステージに応じた「スポーツ・運動活動の場」を提供しています。具体的には、スポーツイベントやコナミスポーツの施設開放を通じた「スポーツ・運動に参加するきっかけ」や「地域住民の交流の場」を構築。他にも自治体保有の施設やオンラインを活用したスポーツ・運動環境づくりを行うことで、スポーツ・運動実施率の向上を支援しています。



毎日、毎週、同じ時間や曜日に「スポーツ・運動活動の場」を訪れることで一緒に楽しむ仲間ができ、自然とコミュニティが形成されていきます。

03 地域を活性化する施策

スポーツには人々を集めて交流を促す力があります。こうしたスポーツの効用は世界的にも認知されており、現在ではスポーツと観光を組み合わせた「スポーツツーリズム」なども注目を集めているほどです。

コナミスポーツの地域支援事業では、大規模なスポーツイベントに限らない、小規模な参加型スポーツイベントによる地域活性化もサポートしています。

地域の商店会と連携したイベントや、テナントイベントスペースを利用した体験会などを開催し、これら参加型スポーツイベントを通じた周辺地域との運動にも取り組んでいます。



地域の特性にあわせたイベントの開催など、全ての年代が楽しめる施策を実施しています。

コナミスポーツの公共施設運営

住民のスポーツ実施率の向上や施設ポテンシャルの最大化、施設の老朽化など、多くの課題が存在する公共スポーツ施設の運営。

コナミスポーツ株式会社は豊富な実績を活かして、魅力的な施設の運営・管理を支援します。



施設の運営・管理でこんな課題はありませんか？

施設の整備の課題

- ・ スポーツ施設の新規整備事例を知りたい
- ・ 老朽化や統廃合、再整備事例を知りたい
- ・ PFI 事業期間終了後の対応事例を知りたい

施設の活性化の課題

- ・ 施設利用者数を増やしたい
- ・ 地域の健康課題を解決したい
- ・ プロスポーツチームとの連携を行いたい

大会や興行の課題

- ・ 大規模大会を開催する場所がない
- ・ プロスポーツを興行する施設がない
- ・ ロケーション撮影などに対応したい

課題を解決する コナミスポーツの施設運営

「利用者ニーズに対応したプログラム等の幅広い提供」「専門性の高いスタッフの効率的な配置」を継続的に行うことで、コナミスポーツ株式会社は、PFIや指定管理者制度が目的とする「住民サービスの向上」を実現します。

PFI (Private Finance Initiative)

公共施設の設計・建設・運営・維持管理を一括して実施いたします。

指定管理者

民間ノウハウを活用した住民サービスと費用対効果の向上を図ります。

業務受託

民間事業者および自治体より施設の運営・管理業務を受託しています。

コナミスポーツは「スポーツを通じた街づくり」に協力します

近年、公共スポーツ施設には、健康・スポーツの課題だけでなく、地域コミュニティ、防災、SDG sといった様々な課題解決の場としての期待が高まっています。コナミスポーツは、あらゆる課題の解決に向けて、地域の皆さまと共に取組み、スポーツを通じたまちづくりに貢献します。

01 多彩な事業スキームの提案

スポーツ施設の運営・管理において、コナミスポーツにはスポーツ施設のPFIや指定管理者、業務受託において過去20年以上にわたる豊富な実績があります。中でも、新規整備される体育館やプールなどの新規整備施設では、過去に60を超える施設で新規開業に携ってきました。

また、近年増えている、施設の老朽化や人口減少に伴う施設の統廃合や移転改築、再整備（リノベーション）、PFI事業期間満了後の対応についても、数多くの実績を備えています。

コナミスポーツなら、これら日本全国で培ってきた豊富な事例に基づき、最適な事業手法（スキーム）を提案することが可能です。



コート岡山南（岡山県岡山市）
PFI、期間満了PFI



スポバーク松森（宮城県仙台市）
PFI、期間満了PFI



なぐわし公園 PikoA（埼玉県川越市）
PFI



スボラたかいし（大阪府高石市）
改修・運営

02 地域や施設特性に合わせた活性化

少子高齢化社会の進行による様々な健康課題には、スポーツが有効であり、公共スポーツ施設の役割は小さなものではありません。一方で、施設の規模や種類、立地条件、住民ニーズなどは個々の事例で異なります。そうした個性性の高い課題に対応するには、幅広い事例を扱った経験が不可欠です。

コナミスポーツは総合型スポーツクラブとして全国で150を超える

直営施設を展開してきたノウハウにより、「スポーツと運動による健康づくり」と「スポーツ施設の利用率向上」への適切なアプローチが可能です。

他にも、地元プロスポーツチームとの連携や、総合型地域スポーツクラブとの連携、地元企業との連携など、施設を活性化させる様々な事例を有しています。

03 大規模大会や興行の開催支援

コナミスポーツはこれまで、運営・管理を支援するアリーナやプールにおいて、プロスポーツの興行や国際大会・全国規模大会の開催を幾度となく経験しています。

これらのノウハウは社内で共有されており、日本全国のどのような施設であっても、事前打ち合わせから当日のサポートまで、丁寧に案内することが可能です。

その他、TVやCMなどの撮影、企業の運動会の開催といった幅広いニーズへの対応も、施設運営・管理支援の一環として行っています。



全国で実績を重ねる コナミスポーツのPPP

：施設運営 ：学校支援 ：地域支援

コナミスポーツ株式会社の PPP 事業が現在手がけている実績の一覧です。
全国の自治体で、個別の課題に即したソリューションを提供しています。
(2021年9月30日現在)

北海道

函館アリーナ	
コナミスポーツクラブ旭川 / 高校・来店型	

宮城

スポパーク松森	
---------	--

茨城

龍ヶ崎市総合体育館「たつのごアリーナ」	
龍ヶ崎市野球場「たつのごスタジアム」	
龍ヶ崎市陸上競技場「たつのごフィールド」	
龍ヶ崎市若柴公園（テニスコート）	
龍ヶ崎市大正堀川運動公園	
龍ヶ崎市北竜台公園(グラウンド・ディスクゴルフ場)	
龍ヶ崎市小貝川市民運動公園	
龍ヶ崎市龍ヶ岡公園（テニスコート）	
龍ヶ崎市工業団地運動公園	
龍ヶ崎市高砂運動公園広場	
龍ヶ崎市北文間運動広場	
龍ヶ崎市城南スポーツ公園（テニスコート）	
龍ヶ崎市羽原川運動公園	
龍ヶ崎市横田川運動公園	
取手ウェルネスプラザ	

栃木

みかもリフレッシュセンター	
---------------	--

埼玉

川口市立戸塚スポーツセンター	
川口市立戸塚榎戸公園内グラウンド	
川口市立中台庭球場	
日高市文化体育館	
日高総合公園	
さいたま市記念総合体育館	
川越市なぐわし公園 PiKOA	
コナミスポーツクラブ 新座 / 小学校・来店型	
コナミスポーツクラブ 所沢	

千葉

船橋アリーナ	
船橋市運動公園	
船橋市法典公園	
船橋市武道センター	
さんぶの森元気館	
千葉市こてはし温水プール	
コナミスポーツクラブ 船橋 / 小学校・来店型	
コナミスポーツクラブ 西船橋 / 小学校・来店型	
コナミスポーツクラブ 市川	
コナミスポーツクラブ 船橋	
コナミスポーツクラブ 西船橋	

東京

すこやかプラザ	
町田市立総合体育館	
町田市立成瀬クリーンセンターテニスコート	
町田市立三輪みどり山球場	
中央区立総合スポーツセンター	
中央区立月島スポーツプラザ	
品川区総合体育館	
品川区戸越体育館	
BumB「東京スポーツ文化館」	

豊島区立雑司が谷体育館	
スポーツプラザ梅若	
墨田区両国屋内プール	
へるすぴあ	
杉並区大宮前体育館	
杉並区荻窪体育館 ※2022.4.1～	
杉並区高円寺体育館 ※2022.4.1～	
コナミスポーツクラブ目黒青葉台	
コナミスポーツクラブ八王子 / 小学校・来店型	
コナミスポーツクラブ蒲田	

神奈川

川崎市とどろきアリーナ	
川崎市多摩スポーツセンター	
川崎市麻生スポーツセンター	
川崎市民プラザ	
横浜市青葉スポーツセンター	
横浜市南スポーツセンター ※2022.4.1～	
横浜国際プール	
鎌倉市鎌倉武道館	
鎌倉市鎌倉体育館	
鎌倉市大船体育館	
鎌倉市見田記念体育館	
相模原市立総合水泳場	
えびな市民活動センター	
海老名市海老名運動公園	
海老名市北部公園	
平塚市余熱利用施設「リフレッシュプラザ平塚」	
秦野市カルチャーパーク総合体育館 ※2022.4.1～	
コナミスポーツクラブ相模大野	
コナミスポーツクラブ橋本	
コナミスポーツクラブ中央林間	

新潟

糸魚川市健康づくりセンター「はびねす」	
新潟市秋葉区総合体育館	

石川

ジョイアクロス	
---------	--

岐阜

多治見市総合体育館	
多治見市星ヶ台競技場	
多治見市宮球場	
多治見市滝呂球場	
多治見市北丘運動広場	
多治見市旭ヶ丘運動広場	
多治見市星ヶ台運動広場	
多治見市市之倉運動広場	
多治見市脇之島運動広場	
多治見市笠原向島運動広場	
多治見市笠原梅平運動広場	
多治見市星ヶ台第1テニスコート	
多治見市星ヶ台第2テニスコート	
多治見市脇之島テニスコート	
多治見市共栄テニスコート	
多治見市笠原向島テニスコート	
多治見市旭ヶ丘弓道場	

静岡

湖西市複合運動施設「アメニティプラザ」	
---------------------	--

愛知

一宮市温水プール	
一宮市テニス場	
一宮市光明寺公園球技場	
ウイングアリーナ刈谷	
日進市スポーツセンター	
愛知県口論義運動公園	
名古屋市中スポーツセンター	
コナミスポーツクラブ 蒲郡 / 中学校・来店型	

滋賀

くさつシティアリーナ	
------------	--

京都

京都市立伏見港公園 ※2022.4.1～ 

大阪

- 門真市立総合体育館 
- 堺市家原大池体育館 
- みなと堺グリーンひろば 
- 美原総合スポーツセンター 
- 大阪市都島スポーツセンター 
- 大阪市西成スポーツセンター 
- 大阪市西成屋内プール 
- 大阪府下福島プール  
- 大阪市福島スポーツセンター 
- 大阪市西スポーツセンター 
- 大阪市扇町プール 
- 大阪市北スポーツセンター 
- 大阪市平野スポーツセンター 
- 大阪市平野屋内プール 
- 大阪市中央スポーツセンター 
- 高石市ふれあい健康増進センター   
- 高石市立総合体育館 
- 吹田市立勤労者会館 
- 吹田市片山市民プール 
- 吹田市北千里市民プール（夏季のみ） 
- 松原市民体育館 
- 松原市道夢館 
- 松原市民プール（夏季のみ）   
- 豊中市立二ノ切温水プール   
- 豊中市立豊島温水プール 
- 豊中市立武道館ひびき 
- 豊中市立豊島体育館 
- 豊中市立柴原体育館 
- 豊中市立千里体育館 
- 豊中市立庄内体育館 
- 豊中市立高川スポーツルーム 
- かなんびあ   
- コナミスポーツクラブ光明池 / 小学校・来店型 
- コナミスポーツクラブ光明池 / 中学校・来店型 
- コナミスポーツクラブ香里ヶ丘 / 中学校・派遣型 

兵庫

- 洲本市文化体育館 
- 豊岡市立総合健康ゾーン健康増進施設「ウェルストーク豊岡」  
- 兵庫県立総合体育館 

奈良

- ウェルネス新庄  
- 大和郡山市九条スポーツセンター 

岡山

- コート岡山南  
- 井原市芳井健康増進福祉施設「ASUWA」 
- 赤磐市山陽ふれあい公園 

広島

- 広島県立総合体育館 

香川

- ヴィスポことひら  
- すぽっシュ TOYOHAMA  

愛媛

- アリーナ土居 

福岡

- 春日市総合スポーツセンター   
- 春日市西野球場 
- 久留米総合スポーツセンター 
- うきは市立総合体育館「うきはアリーナ」   
- 北九州市立小倉北体育館 
- 北九州市立小倉北柔剣道場 
- 北九州市立勝山弓道場 
- 北九州市立三萩野体育館 
- 北九州市立三萩野庭球場 
- 北九州市立小倉南体育館 
- 北九州市立小倉南庭球場 
- 北九州市立小倉南武道場 
- 北九州市立城野体育館 
- 北九州市立紫川河畔庭球場 
- 北九州市立紫川河畔プール（夏季のみ） 
- 北九州市立吉田太陽の丘庭球場 
- 北九州市立曾根体育館 
- 北九州市立朽網プール（夏季のみ） 
- 北九州市立門司体育館 
- 北九州市立門司球場 
- 北九州市立門司青少年体育館 
- 北九州市立門司庭球場 
- 北九州市立門司弓道場 
- 北九州市立新門司体育館 
- 北九州市立新門司温水プール 
- 北九州市立田野浦庭球場 
- 北九州市立大里柔剣道場 
- 北九州市立大里プール（夏季のみ） 
- 北九州市立松ヶ江プール（夏季のみ） 
- 北九州市立和布刈塩水プール（夏季のみ） 
- 福岡市城南体育館 ※2022.4.1～ 
- 福岡市早良体育館 ※2022.4.1～ 

佐賀

- 吉野ヶ里町文化体育館 

長崎

- コナミスポーツクラブ長崎 / 小学校・来店型 

大分

- 大分市大洲総合運動公園 
- ホルトホール大分  
- 大分県立武道スポーツセンター 

宮崎

- 宮崎市石崎の杜鯨鯨館 ホエルカム 